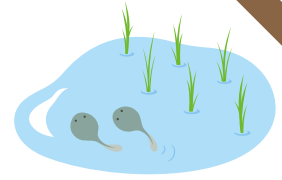
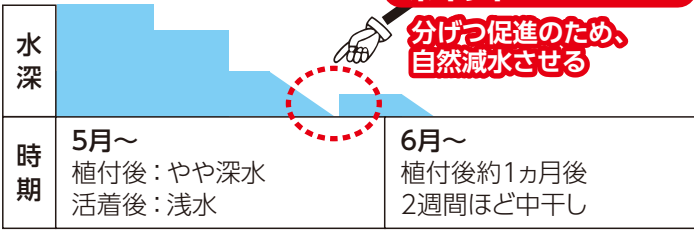




## 田植え後の水管理



### 【水管理のイメージ】



#### ポイント

分げつ促進のため、  
自然減水させる

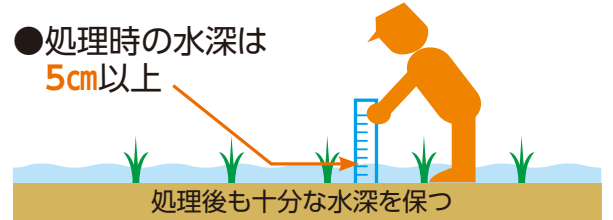
移植後から幼穂形成期の水管理は、「保温効果」「雑草の抑制」「養水分の供給」などの生育・収量や品質に影響を与える重要な役割があります。水稲の生長点が土壌中にあり、「地温」と「水温」から影響を受けやすいので、生育初期は細やかな水管理が必要です。

**田植え以降は、今年産米の品質・収量を大きく左右する重要な時期です。  
田植え後の生育不良や、雑草の取りこぼしがあれば、営農指導担当者にご相談下さい!!**

## 除草剤使用の注意点

- ◎処理時の水深は5cm以上。特に、ジャンボ剤・フロアブル剤は必ず5～6cmの湛水状態を保って下さい。
- ◎藻・浮草が発生していると、拡散が不十分となり効果が劣ることがありますので、使用時期の範囲内で早めに散布して下さい。
- ◎水口、水尻をしっかり止めて、処理後は少なくとも7日間はそのまま湛水を保ち、落水・掛け流しはしないで下さい。
- ◎除草剤は土壌面に被膜を作り雑草の発芽を抑えるので、散布後は土壌面が現れないようにして下さい。

●処理時の水深は  
5cm以上



## 還元障害の症状と対策(やみ田)

### 軽い症状

- 分げつの兆しがない。
- 下葉全体に赤い斑点がポツポツと出ている。
- 稲株の葉色が出ない。
- 根張りが悪く引っ張るとすぐ抜ける。

- 軽く田面を干す。
- 干しても回復がみられない場合は、硫酸マグネシウムやマルチサポート2号を10a当たり20kg施用します。

### 重い症状

- 下葉が黄色くなる。
- 分げつが遅くなる。
- 稲株の葉色が出ない。
- 田に入るとブクブク泡が出て臭う。

- 溝切り(こじわり)を行い、数日間落水して、田面を干します。
- 硫酸マグネシウムやマルチサポート2号を10a当たり20kg施用します。

**早期の対応が  
生育・品質改善の第一歩です！**

